

白河民商

発行所
白河市天神町28
白河民商五会
TEL(27)3161

9月の無料法律相談・なんでも相談会

9月12日(木)午後4時

相談ご希望の方は事前にお申し込みください。



「グラウンドゴルフ大会が開催！」

11支部・80人が参加して 熱戦が繰り広げられる



ホールインワン賞に輝いた参加者のみなさん

毎年恒例の共済会主催・文化スポーツ部会協賛「第12回グラウンドゴルフ大会」が8月25日(日)約80名の参加で開催されました。各支部でチームを編成し、今年も15チームが2試合合計得点を争いました。

開会式では、鈴木勝正副会長の開会のあいさつの後、主催者を代表して中西一彦共済会理事長が、「最近の民商は、拡大で元気がないのでガンバローを1回やりなす。」と全員でガンバローを行ない、競技に入りました。毎年暑い時の開催ですが、1位と2位・3位のチームの得点は1点差という大接戦。年々腕前も上がり熱戦が繰り広げられました。

成績は左の表のとおり

優勝	中島支部	242点
準優勝	白河4A	243点
第3位	三神支部	243点

同点で参加者全員がシャンケン

個人優勝	矢吹東	榎木良一	43打
個人準優勝	矢吹西	深谷寿夫	44打
個人第3位	三神	小針浩一	44打
ブービー賞	西郷口	藤田昭子	68打

ホールインワン賞	榎木良一(矢吹東)・双石義成(白4)
	深谷寿夫(矢吹西)・野崎秀美(東)
	市川保則(東)・芳賀カツヨ(白5)

おめでとうございます。
敬称略
大変お疲れさまでした。

「原水爆禁止世界大会」に参加して

今回は世界大会・長崎へ、4年前同様、娘と一緒に加わせていただきました。周りの方々からも快く送り出していただき、大変ありがとうございました。被爆75年の節目の年を前に開かれた大会は『生きていくうちに核兵器のない世界の実現を』という願いが込められた大会でもありました。開会総会の中の長崎市長の歓迎と連帯のあいさつが一番の印象に残りました。「核兵器をめぐる世界情勢は厳しい状況であるが、私たちが原点に返り市民社会の力を思い出しみんなで集めること、長崎・広島から声を発していくことで全国からの声になっていくし、過去の問題ではなく、今と未来に関わる問題で同じメッセージを発信してほしい」と訴えがあり、大変感動し今後の署名活動の力にしなければいけないと感じました。

2日目の分科会は「うごく分科会」で佐世保基地調査行動に参加しました。特にここに残っていることは、佐世保港の約8割は米軍の占領下にあり漁港は市民の商業施設ではなくいつでも戦争が行なえる状況である事、日本の領土でありながらそうでないことを肌で感じる事ができました。港にはたくさんさんの米海軍船があり迫力満点でしたが、悲しい気分になりました。「原爆投下の広島・長崎が雨の日であったなら...こんなことにはなっていないかったのでは」とガイドさんが話してくれました。本当に晴天でなかったら...と考えるとむなし気持ちになりました。

3日間の貴重な体験をおして、核兵器の恐ろしさに触れ、「核兵器禁止条約の一日も早い発行へ」ヒバクシャ署名に取り組み活動をして行きたいと思えます。ありがとうございます。

鏑水靖子

今回戦後七四年の長崎県を訪れ、原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。私は四年前に一度広島県で行われた原水爆禁止世界大会にも参加させていただきました。高校生だったため、「戦争は繰り返されてはならないものである」や「放射線は悪いものだから原子力発電所は良くないものだ」と感じていました。

しかし、私は現在大学で放射線についての勉強をしているので、今回は放射線が人間にどのような影響を及ぼすのか理解したうえで、今後の日本や世界がどのような「平和」を目指してゆけばいいのか、放射線は核兵器に使用されるのではなく、人間にとってより良く利用されるべきであると四年前では感じることのなかった、具体的な「平和」について考えることが今回の原水爆禁止世界大会でできました。今回感じる

支部だより

矢吹西支部役員会

8月20日(火)に割烹高久で矢吹西支部役員会が開かれ、役員6人、二宮会長、事務局が出席しました。グラウンドゴルフ大会、福商連役員学習交流会への参加について話し合いました。



矢吹西支部役員会の様子

